

メキシコ湾の衝撃

プレデター

# バシヨウカジキ 見参！

Photo&Text

Takaji Ochi

Special Thanks

INTO THE BLUE

Design Sana

メキシコ湾に浮かぶムヘレス島。

「ムヘレス」とは、スペイン語の言葉で

「女性」を意味する。

昔、ユカタン半島のこの周辺に住むマヤの部族が

他部族との抗争から女性をかくまうために

利用した島だったので、

この名前が付けられたという。

同島から沖合50kmから80kmの外洋では

無力で非力な種を取り囲み、

獲物として根絶やしにしてしまう

過酷な生存競争が繰り広げられていた。

そのプレデター（捕食者）は

我々ダイバーの憧れの大物

バシヨウカジキ！

ここに見参！



Information Link

[http://takaji-ochi.com/special\\_trip/trip07.html](http://takaji-ochi.com/special_trip/trip07.html)

関連情報HPへ

**海中**で、カシカシ!カシカシ!という金属が軽く触れ合うような音がはっきりと聞こえてくる。しかし触れ合っているのは、金属ではない。ともに生命を持つ魚だ。ただ明らかに違うのは、一方が補食する側、他方が補食される側だということだ。軽快な金属音は、カメラのシャッターを連射する音にも聞こえる。その音が聞こえる度に、海中には銀鱗が舞い散り、太陽光でキラキラと反射しながら霧散していく。逃げ惑うのは、イワシの群れ。そして鋭く長い“鼻”で、イワシの鱗を舞い散らせている捕食者(プレデター)は、ダイバー憧れの魚、バショウカジキだ。

バショウカジキが群れで補食するシーンを眼前で見れる海があることは、以前から海外の友人水中カメラマンたちからの情報で聞き知っていた。しかし、大抵の場合「海はめちゃくちゃ荒れるし、相当に運が良くなければ、短期の滞在では、良いシーンに遭遇することは難しい」との見解が大半だった。

**ベスト**シーズンは1月初旬から3月まで。4月になると群れはまったく見れなくなる。何故この時期に群れるかと言うと、彼らの餌となるイワシの群れも、この時期にこの海域に大挙して回遊してくるからだ。しかし、その中でも最もベストと言われている2月3月は世界中の水中カメラマンがこぞってこの海を訪れる。こぞって、と言っても、このバショウカジキスイミングのオペレーションを行なっているのは、このムヘレス島ではたったの一家。カンクンで最近オペレーションを始めたところもあるようだが、実績、経験ともに卓越している必要がある、このバ

ショウカジキスイムを体験するのであれば、彼に任せただけが良いと判断した。アンソニー・メンディーリョ。彼はバショウカジキスイムのスキッパーとして、すでに9年の経験がある。つい最近までは唯一のオペレーターだった。最初はディスカバリーチャンネル、BBC、ナショナルジオグラフィックなどなど、名だたる、TV番組での撮影を担当。その後も、世界中の有名無名な水中カメラマンがアンソニーの元を訪れて、バショウカジキの群れの撮影を行なって来た。

乗船するボートの壁面には、名だたる水中カメラマンたちの名前が刻まれていた。日本では、まだ認知されていないが、欧米ではすでに、バショウカジキ狙いの人気のディスティネーションとしての地位を確立している。

01/銀鱗を舞い散らせ、イワシを補食した一匹のバショウカジキ

02/フィッシングボート2隻でオペレーションを行なっています



02



03



04

03/大げさな事は言わない。信頼できるスキッパーのアンソニー

04/アンソニーの家族も皆素敵だった

05/下から浮上しながらイワシを補食。激しい生存競争が眼前で繰り広げられる

05/下から浮上しながらイワシを補食。激しい生存競争が眼前で繰り広げられる

# 攻撃の瞬間、 シヤツターの連射音が海中に響き渡る



05



01



メキシコ湾の衝撃  
プレデター バショウカジキ見参!  
WEB-LUE 2011. Summer [Sailfish]



Information Link

[http://takaji-ochi.com/special\\_trip/trip07.html](http://takaji-ochi.com/special_trip/trip07.html)

関連情報HPへ

02





01/島の中心地には、カラフルで可愛いお店や家々が並ぶ  
 02/手作りのお皿や灰皿も、おもちゃとして目を引く  
 03/頭蓋骨の陶器もカラフル。思わず衝動買いしてしまった

04/手作りのハンモックも安い

05/おばあさんが、お皿にペイントしているのを撮影させてもらった

06/戦士の仮装をした男たち。夜のレストラン街でパフォーマンスを披露してくれる

07/メイン通りには、多くのレストランやおみやげ屋さんが軒を並べる



04



05



06



07



02



03

# いちかばちか、運を天に任せてムヘーレス島へ

**ロケ**で海に出たのは、4日間の短い日程。しかも2月3月はすでにチャーターされていて予約が取れず、現地に入ったのは1月5日と、バショウカジキのシーズンとしては、まだ始まったばかりの時期だった。“いちかばちか、運を天に任せる”。そんな心境で訪れた。

飛行機で降り立ったのは、日本人にもメジャーリゾートとして人気の高い、メキシコの坎クン。そこからタクシーでムヘーレス島へ渡るフェリーの出る港へ。フェリーは早朝から夜11時頃まで、30分毎に定期的に運行されている。それだけ利用客が多いということだ。日本人には馴染みの無い同島だが、その他の国からの観光客には人気の島らしく、島内には多くの土産物店やレストランが中心の通りに軒を連ねている。メキシコらしい、明るい塗装を施した家々。島のメイン交通機関はゴルフカート。

何もかもが、陽気で原色系。目を引いたのはカラフルな色彩のプレートのおみやげと、スカル(頭蓋骨)の陶器。そして、ハンモック。これだけレストランがあれば、食事には事欠かないと思ったのけど、勧められて食べに行ったレストランは、雰囲気は良いのだけど味は“イマイチ”なところが多かったのが残念なところ。だがそれさえ多少我慢すれば、メキシコにしては安全で、居心地の良い島だった。

**宿泊**したのはセールフィッシングのオペレーションを行なっている、アンソニーが経営しているホテル、Playa Le Medialuna。ビーチに面したこじんまりしたリゾートホテルだ。ちょっと部屋が狭いのと、水道水は絶対口に含まない方が良いということ以外は、居心地が良いし、ロビーでWiFiがつながるし、アンソニー家族もこのホテルの2階に住んでるので打ち合わせもしやすい。

船の港があるハーフムーンビーチまで機材を持って行くには徒歩10分とちょっと遠いので、移動手段として、荷台付きのゴルフカートをレンタルした。免許証は特に必要無いらしい。



08



09



10

08/島のメインのビーチ、ハーフムーンビーチ。ここから船も出港する  
 09/アンソニーが経営するホテル、Playa Le Medialuna  
 10/通りに路駐してあるのは、ほとんどがゴルフカートだ  
 11/坎クンの港からは、このフェリーでムヘーレス島へ移動する



11



メキシコ湾の衝撃  
 プレデター バショウカジキ見参!  
 WEB-LUE 2011. Summer [Sailfish]



Information Link

[http://takaji-ochi.com/special\\_trip/trip07.html](http://takaji-ochi.com/special_trip/trip07.html) 関連情報HPへ



# 「過去9年間、刺された人はいない」という言葉を信じて



01



02

01/ 鼻先が水面をかすめ、水しぶきが無数の気泡となって、バショウカジキの頭部を包む  
02/ 眼前に鼻先が迫る。カメラ無しには、やっつけられない



03/ グンカンドリやカツドリが、イワシの群れを探す目印になる。その下には多くの確率で、バショウカジキの姿もあった

話を海に戻す。早朝、港から出港したフィッシングボートが向かったのは、ユカタン半島の南東の外洋域。この時期は季節風が吹きすさび、避ける場所の無い外洋では、激しいうねりと波が荒れ狂っている日の方が多いという。

**荒れた** この何も無い海で、どうやってバショウカジキの群れを探すのか。まずは双眼鏡で鳥山を探索する。グンカンドリやカツドリなどが群れて補食活動を行なっている下には、かなりの高確率でイワシを補食するバショウカジキの群れがいるのだという。

そうは言っても、出会えない時には、2週間海に出てもまったく出会えないこともあるとアンソニーは言う。「会える時

には、会える。会えないときには、会えない」自然界では至極当然のことだ。だからこそ、自分はいつも、「いちかばちか、運と天に任せる」のだ。

**初日** まあまあのコンディション。しかし、バショウカジキスイムを経験したことのある何人かの友人カメラマンから「そう簡単に会えるものではない」と言われていたから、あまり期待せずに海に出た。その思いとは裏腹に、職人気質のアンソニーは絶対に群れを見せる！と意気込んでくれていた。その思い通り、出港から数時間後、僕らは補食するバショウカジキたちと、同じ海の中にいた。初遭遇の興奮は、半端では無かった。

**するどい** 鼻先で、突き刺されるのでは無いかという恐怖心。しかし、「9年間セールフィッシュスイムを行なっていて、刺された人は一人もいない」という彼の言葉を信じて（というか思い込まないとやっつけられない）、プレデターに対峙した。美しい背びれが開く瞬間をきっかけに捉えることは、ここに来る前は“夢”であったはずなのに、今現実に目の前で、30匹のバショウカジキたちが、何度も何度もその美しい背びれを全開させた姿を見せてくれた。

メキシコ湾の衝撃  
プレデター **バショウカジキ見参!**  
WEB-LUE 2011. Summer [Sailfish]



Information Link  
[http://takaji-ochi.com/special\\_trip/trip07.html](http://takaji-ochi.com/special_trip/trip07.html)

関連情報HPへ



「過去9年間、刺された人はいない」という言葉を信じて



まるで、海賊船の旗のようなボロボロの背びれに、見とれてしまう

01/群れの中での撮影。無防備もいいところだ

02/イワシたちも必死になって逃げまくる。時には、ダイバーの腹の下に逃げ込むことも

03/背びれを全開にして、攻撃態勢を取り、一気にイワシの群れへと襲いかかった



01



02



03



メキシコ湾の衝撃  
プレデター バシヨウカジキ見参!  
WEB-LUE 2011. Summer [Sailfish]



Information Link

[http://takaji-ochi.com/special\\_trip/trip07.html](http://takaji-ochi.com/special_trip/trip07.html)

← 関連情報HPへ

**2日目** 信じられない程のべた凧。80kmも島から離れた外洋にいるとは思えない。「今日は場外満塁ホームランしか狙わないぞ!」とアンソニーが言ったように、海中にいるイワシとバショウカジキの群れは、船上からでもはっきり見られるくらいの状況だった。そして、バショウカジキの群れも昨日の30匹の倍以上の個体数。スイム時間も2時間以上に及んだ。

それにしても、計4日間、水中に入っているときに目撃した魚は、バショウカジキとイワシ、そして一匹のパラクーダだけだった。この海に、他の魚は生息していないのか!

慣れてきたこともあり、僕はさらにイワシの群れに近づいて、逃げ惑うイワシたちを捕食するバショウカジキを狙い続けた。フィッシュアイのレンズをのぞいているからか、突っ込んで来るバショウカジキが眼前まで迫ってきても遠いと感じる。もう決定的瞬間をモノにすることしか、頭には無かった。

**群れ** に突っ込むバショウカジキが、カシカシと音をたてて、イワシの銀鱗を飛び散らせたと思った次の瞬間、一匹のイワシが串刺しになり、そのまま口の中に滑り込んで行った。なんて器用な捕食の仕方なのか。

時に、ポロポロになった1匹のイワシが、群れからはぐれて僕の胸の下に逃げ込んで来た。そこにも、バショウカジキたちは容赦なく襲いかかる。一瞬、「刺さるかも!」と思えるような勢いで突っ込んで来るのだが、器用に僕を避けながら、イワシを捕食し続けた。

自分も興奮してアドレナリンは全開状態だ!



01



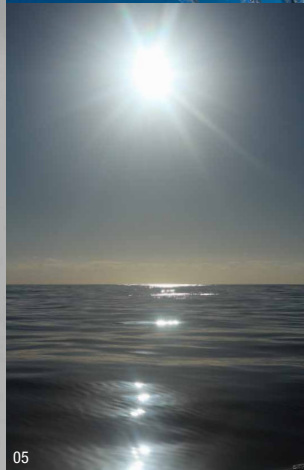
02



03



04



05

この海には  
バショウカジキ

イワシと  
ジキしかいないのか!?

01/素潜りして、下からカジキとダイバーのシルエットを撮影した

02/ボート上から見た、カジキとイワシ以外の海の生物は、サメとイルカ

03/加えたイワシは、あっという間に、口の中へと消えていった

04/逃げ惑い、ぼろぼろになったイワシたち

05/信じられないくらいべた凧。天が我々にチャンスくれた日

06/体色を変えて、興奮状態のバショウカジキ



06

イワシの群れと一緒に、突っ込んで来る。アドレナリンは放出されっぱなしだ



メキシコ湾の衝撃  
プレデター バショウカジキ見参!  
WEB-LUE 2011. Summer [Sailfish]



Information Link

[http://takaji-ochi.com/special\\_trip/trip07.html](http://takaji-ochi.com/special_trip/trip07.html)

← 関連情報HPへ





01

この海には、イワシと  
バシヨウカジキしかいないのか!?



02

01/ するどい“鼻”で一匹のイワシを群れから引き離し…、  
02/ 電光石火のごとく、捕食する



メキシコ湾の衝撃  
プレデター バシヨウカジキ見参!  
WEB-LUE 2011. Summer [Sailfish]



Information Link

[http://takaji-ochi.com/special\\_trip/trip07.html](http://takaji-ochi.com/special_trip/trip07.html)

← 関連情報HPへ

07

# 天国から地獄……、そして天国

**大漁旗** を掲げて帰還しても  
良いくらいの成果を  
上げた翌日。海は大荒れ。「今日は海に  
出なくてもいいかな」と思うくらいのコン  
ディションだったのに、職人気質のアン  
ソニーは「過去に自分がベストと思った  
バショウカジキの群れとの遭遇は、こん  
な荒れた日だったんだ」。そう言って、船  
を出発させた。

しかし、荒れ狂う海の中で、一緒に  
乗っていた海の猛者たちも多少意気消  
沈して、横になっていなければいけない  
くらいの状態。いくらバショウカジキたち  
に遭遇しても、このコンディションで海に  
入るのは、相当に危険だ。「まるで、海  
猿の海洋訓練みたい」と思うような状況  
だった。

**だが** 「こんな日が1週間ずっと続  
く事もザラ」と言う彼の言  
葉には、相当な重みがあった。しかし、な  
かなか群れは見つからない。

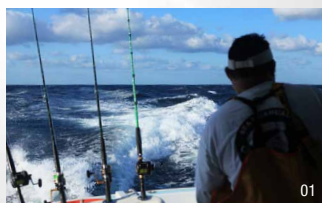
そこで登場したのが、たくさんの餌や  
疑似餌のついた、傘場の釣り具。といっ  
ても、フックは外してある。これにイワシ  
をたくさんくっつけて、ダミーの群れを作る  
わけだ。

しかしそうは言っても、それでどうする  
わけ？と尋ねると「ダミーに食いついて、  
ボートに並走したバショウカジキと一緒に  
泳ぐんだ。船の真後ろまでダミーを寄せ  
るから、そのタイミングで海に入れ」とい  
うのだった。「……」コンディションが良けれ  
ばともかく、この荒れた状態でそれは相  
当に危険な行為だと思った。

だが、言われればやらないわけにはいかない。マスクと  
フィン装着して船縁によりかかり、カメラハウジングを片  
手をもって、いつでもエントリーできる体勢を整えて待った。  
結局、この日バショウカジキには遭遇することはなかった。

**最終日** 地獄のような状態から回復し、何と4時  
間以上、100匹近くのバショウカジキた  
ちと泳ぎ続けることができた。その時に撮影したお気に入りの1カットが次のページの写真だ。

天国と地獄、両方を経験し、凱旋した。



01



02



03



04

01/さすがの強者たちも、少々グロッキー  
キキキキ

02/海は荒れ放題の3日目

03/フックのついていない疑似ベイト  
ボールで、バショウカジキをおびき寄  
せる作戦

04/最終日、また天気が回復した

05/今回は、こんな色彩になった瞬間  
の迫力あるシーンを撮影したい



05

## スペシャルトリップ開催

WEB-LUE / INTO THE BLUEでは、下記のスケジュールで、ボートをチャーターしてのバショウカジキスイムを開催します。

### 【募集人数】

チャーターベースの少人数制。募集人数は1回に4人限定。

### 【集合・解散】

基本は、現地集合、現地解散です。カンクンの空港から、  
現地ホテルまでは、現地スタッフが対応します。

### 【費用】

国際線を含まない現地費用は4人集まって、約27万円に  
なります。\*ホテル(2名1室)、空港からフォリー乗り場~ホテル  
までの送迎、フェリー代、バショウカジキスイム、ランチ、ゴルフ  
カートレンタルなどが含まれます。朝食、夕食代は含まれません。

【お問い合わせ】 [info@web-lue.com](mailto:info@web-lue.com)

### 【日程】

全て日本出発~日本着8日間、ボート乗船5日間

●2011年12月29日(木)~2012年1月5日(木)

現地でのボート乗船 30、31、1、2、3日

●2012年1月3日(土)~2012年1月10日(土)

現地でのボート乗船 4、5、6、7、8日

●2012年1月10日(火)~2012年1月17日(火)

現地でのボート乗船 11、12、13、14、15日

●2012年1月15日(日)~2012年1月22日(日)

現地でのボート乗船 16、17、18、19、20日



メキシコ湾の衝撃  
プレデター バショウカジキ見参!  
WEB-LUE 2011. Summer [Sailfish]



Information Link

[http://takaji-ochi.com/special\\_trip/trip07.html](http://takaji-ochi.com/special_trip/trip07.html)

関連情報HPへ



天国から地獄……、そして天国




メキシコ湾の**衝撃**  
プレデター **バショウカジキ見参!**  
WEB-LUE 2011. Summer [Sailfish]



Information Link

[http://takaji-ochi.com/special\\_trip/trip07.html](http://takaji-ochi.com/special_trip/trip07.html)

←  関連情報HPへ